

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年9月18日(2024.9.18)

【公開番号】特開2024-32789(P2024-32789A)

【公開日】令和6年3月12日(2024.3.12)

【年通号数】公開公報(特許)2024-046

【出願番号】特願2024-4491(P2024-4491)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月9日(2024.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果が所定結果となることに基づいて所定遊技状態よりも遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させることができ手段と、
を備え、

前記所定遊技状態及び前記特別遊技状態とは異なる遊技状態として、所定の第1条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由して移行し得る第1特定遊技状態と、前記第1条件とは異なる所定の第2条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由することなく移行し得る第2特定遊技状態とを有しており、

所定入球手段に対応して設けられ、前記所定入球手段に遊技球を受入可能な第1態様と、前記所定入球手段に遊技球を受入不可又は前記第1態様よりも受け入れにくい第2態様とに切替可能な可変手段を備え、

前記可変手段の切替制御モードとして、前記所定入球手段への入球が相対的に生じやすい第1切替モードと、前記所定入球手段への入球が相対的に生じにくい第2切替モードとを有しており、

前記第1特定遊技状態での前記切替制御モードが前記第1切替モードであり、前記第2特定遊技状態での前記切替制御モードが前記第2切替モードであることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果が所定結果となることに基づいて所定遊技状態よりも遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させることができ手段と、

40

50

を備え、

前記所定遊技状態及び前記特別遊技状態とは異なる遊技状態として、所定の第1条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由して移行し得る第1特定遊技状態と、前記第1条件とは異なる所定の第2条件が成立した場合に前記特別遊技状態を経由することなく移行し得る第2特定遊技状態とを有しております。

所定入球手段に対応して設けられ、前記所定入球手段に遊技球を受入可能な第1態様と、前記所定入球手段に遊技球を受入不可又は前記第1態様よりも受け入れにくい第2態様とに切替可能な可変手段を備え、

前記可変手段の切替制御モードとして、前記所定入球手段への入球が相対的に生じやすい第1切替モードと、前記所定入球手段への入球が相対的に生じにくい第2切替モードとを有しております。

前記第1特定遊技状態での前記切替制御モードが前記第1切替モードであり、前記第2特定遊技状態での前記切替制御モードが前記第2切替モードであることを特徴とする。

10

20

30

40

50